

踏み出そう！ 世界平和への奉仕の第一歩

国際ロータリー第2650地区
2001～2002年度ガバナー

西村 二郎



「私一人では世界を変えることはできないが、水面に小石を投げて、数多くのさざ波を引き起こすことはできます」と、マザーテレサ女史は言いました。ロータリーの社会奉仕の精神は女史のこの言葉と相通ずるのではないのでしょうか。

1907年、ポール・ハリスがシカゴのロータリークラブ会長に就任後、その活動方針を「奉仕」と定め、1909年に2つの公衆便所をシカゴに設置しました。これがロータリーとしての最初の社会奉仕事業だといわれています。その後、世界中にロータリークラブが設置されて以来、ロータリアンは地域社会に奉仕することに深く携わってきました。

ロータリー綱領の第3項にも「ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること」と社会奉仕の目的が記載されています。

ロータリーは、1つの人生哲学ともいわれますが、それは「Service above self」という奉仕の哲学です。ロータリーの活動は理念の提唱ではなく、実践哲学でなければなりません。「奉仕するものは行動しなければならない」と、決議23-34で述べられています。

社会奉仕活動の新しい流れとして、国際ロータリーのキング会長は、「Mankind is our business」という壮大なテーマ達成のために、9つの活動分野にそれぞれ“社会奉仕タスクフォース在日ゾーンコーディネーター”を任命されました。私たちの地区では、小谷隆一国際ロータリー元理事のご指導によって、宮崎茂和ゾーンコーディネーターがすべての分野を担当されています。

社会奉仕の9つの活動分野とは、ロータリー地域社会共同体、エイズ教育、環境保全、識字向上、高齢者対策、犯罪および暴力防止、危機下の児童擁護、障害者雇用促進とロータリーボランティアの活動です。世界の国々の事情もあって、その活動は多岐にわたっていますが、今年度の国際ロータリーの目標は、「各クラブが地域社会のニーズにあった新しい社会奉仕プロジェクトを最低1件は実行する」ということです。

各クラブが自主性をもって新しい社会奉仕プロジェクトに着手することで、会員の意識が喚起され、その活動が社会の人々の心を動かす魅力的なものとなることを願っています。そうすればロータリーが地域社会に一層理解されて、ロータリーへの関心が深まり、その結果、会員増強にも繋がるのではないのでしょうか。

社会奉仕の1つである環境保全について、2001年9月8日に滋賀県長浜市で国際ロータリー第2650地区第1組Intercity Meetingが、「レークびわ1400 - きれいな水を次世代に」をテーマに開催されました。琵琶湖を水瓶として恩恵を受けている1400万人の京阪神の人たちのためにも、ロータリアンが今、何を考え、どのように行動すべきか、熱心に討議されました。

琵琶湖を含めた環境の悪化は警告として真摯に受け止めなければなりません。環境はそこに存在しているものではなく、大自然界から私たちに貸し与えられたものです。次世代に美しい状態で引き継いでいくべき大切な宝であるという意識のもと、ロータリアン各自に強い行動が求められます。

安全な水、CO₂に起因する地球温暖化、廃棄物の再資源化による循環型社会の構築、空気汚染、自然と森林保護の問題などの環境保全を、私たちの地区では1つの大きな社会奉仕の機会と捉えて行動します。各ロータリークラブの会長、幹事の皆さんのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

国境のない社会の到来で、ロータリーも社会奉仕と国際奉仕の垣根がなくなり、地球規模の問題として奉仕を考えなければなりません。社会奉仕の9つの活動の大部分は、世界社会奉仕の活動と共通しています。

地区およびクラブのそれぞれの奉仕部門がお互いに協力しあい、恵まれない人々のために、また、よい環境保全のために行動することが、ロータリーの終極の目的である世界平和への歩みとなるのです。このことが本年度国際ロータリーのテーマ「Mankind is our business」すなわち「人類に奉仕することが私たちの仕事」なのです。ロータリアン一人ひとりの積極的な実践を期待いたします。

提言から行動のとき - 社会奉仕

地区社会奉仕委員会 委員長

中田 全一

(近江八幡RC)



21世紀は、環境・人権・創造の世紀と言われています。

開発を優先し、成長経済を謳歌した結果が環境破壊となり、かけがえのない自然を失ってきました。自然に生かされている心で環境を問い直さねばなりません。

環境共生の思想は、自然を保護することの大切さを学び、近隣景観の保全・緑化の推進、クリーンアップ運動へと拡がっていき、地域間のコミュニケーションの再構築をも可能とし、失われつつある連帯の絆がよみがえり、より深まることも大いに期待されるところであります。

基本的人権の尊重は言をまちませんが、日々暮らしの折々に沢山の差別があることも事実です。誰もが平等で自由な権利が保証されるように、積極的に行動に移さねばなりません。アメリカにおける、かつて想像したことのない同時テロ事件は、全世界に大きな衝撃を与えました。テロは絶対に許せないことでありますが、宗教の違い、民族間対立、イデオロギーの相克、経済格差（貧困・飢餓）等々複雑で難しい問題を包括しています。世界平和を守っていくためにも、人類の崇高な英智が発揮され、万民の幸福のための解決を望むものであります。

ゆとりやうるおいが声高に叫ばれる今こそ、「本物」「こだわり」「智慧」- 即ち、先人が培ってきた日本の文化を学びとり、新たな創造の糧にしなくてはなりません。幾多の先人達の生活文化は、あらゆる困難を乗り越え、今日の繁栄と安定をもたらしてくれました。景気回復への確かな処方箋が見出し得ない現在だけに、「温故知新」の心で過去を検証し、21世紀にふさわしい暮らしの文化を創造していこうではありませんか。

地域をしっかりと見つめ、地域の連帯の礎として無私の奉仕の実践しかありません。近年各クラブでは、地域に根を張った事業の展開を継続的に行っておられます。本能性ニーズを的確に把握し、様々な奉仕団体とも連携して、社会奉仕の活動を、まちづくりの実として成果をあげたいものであります。

本年度地区社会奉仕委員会としましては、

地区社会奉仕委員長会議を開催します。

11月9日(金)「ぱるるプラザ京都」(JR京都駅前)において開催します。I.M.単位のブロック毎に、5名の方の事例報告をお願いした後、意見交換を行います。また講演は、今年度リチャード・キングR.I.会長の「人類が私達の仕事」という、壮大なテーマの達成のための社会奉仕部門としての活動分野のうち「これからのロータリーの奉仕活動について」をテーマに講師をお願いしております。

地区社会奉仕委員研修セミナーを開催します。

下記の様に6つのテーマによる専門講師を招いての地区委員研修セミナーを行い、後日まとめを各クラブに情報発信し、今後の事業展開の一助になればと思っています。

H13.10.6(土)	まちづくりへの理論武装への提案	担当 服部 章(大津RC)
H13.12.1(土)	バリアフリーデザインからユニバーサルデザインへの提案	担当 中田 全一(近江八幡RC)
H14.1.19(土)	交通事故防止への強力な呼びかけと実践への提案	担当 松井 淳治(奈良東RC)
H14.2.16(土)	環境共生への提案	担当 中西 佳男(京都城陽RC)
H14.3.16(土)	青少年の心のケアへの提案	担当 小林 政志(福井西RC)
H14.4.20(土)	障害を持つ人達との関わりを絆への提案	担当 山田 好彦(京都洛北RC)

社会奉仕活動こそ、ロータリーの顔とも言えます。今に生かされている私達が、^{いま}現在を考え、次代へ誇って申し送れる社会づくりは当然の責務と言えましょう。会員諸兄の御指導、御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

身近な環境保全活動への取組み

地区環境保全委員会 委員長 **城守 勇治**
(京都RC)



昨今、世界各地で環境破壊問題がクローズアップされておりますが、地球に重大な影響を及ぼすようなニュースでも、最近愕くことが少なくなってまいりました。これも恒常的な自然環境の悪化に伴ない、人間の感覚が麻痺してきているのでしょうか。人類が地球に誕生した時から抱えている飢餓・病気・災害・戦争等々は歴史の変遷とともに今も繰り返し起っております。これら如何なる場合でも自然環境の人為的变化による原因、あるいは人間のエゴイズムによって齎されてきたのではないのでしょうか。地球上の全ての人々が自己の周りの少しの事から注意するだけでも地球環境破壊の速度を落とすことは可能です。



身近な取組みとして実行していただくために、

自己のライフスタイルから、家庭でのゴミを減らす工夫をお願いいたします。

ロータリアンとして環境型社会への実践から、リサイクル及びエコライフに取り組んで頂き、会社・御家庭でのエネルギー節約を行って頂くこと。

青少年に環境保全活動、事業に参加いただく機会を持っていただき、自然環境保護への理解を深めて頂くこと。

ロータリアンの所属する企業が、環境保全活動を推進し、地球と共生することを目指して頂くこと。

地球の環境保護（美化）団体、NPO法人及び地域市町村行政関連担当窓口と、提携可能な事業（活動）展開を検討頂き、その実施にむけて積極的なお取組みをお願いします。

今年度環境保全委員会は、昨年の環境保全委員長会議での成果を踏まえて、5ブロック地区（I.M.単位）での環境保全委員長会議を実施させていただきました。各々地区ロータリークラブが実施されておられる自然環境保護活動ならびに様々な美化運動について、継続的に実行されましたことが着々とその成果を上げています。また、地区内で抱える新しい環境破壊についての御報告もいただいております。

これらの事柄はロータリアンのみならず、地域・諸団体の方々との問題意識、対策方法を共有することにより解決のヒントに成り得ることが有ります。今、各々クラブでは様々な環境保全活動を単独クラブで実施されておられますが、地域には共通した環境問題が多々有り、共通したテーマのもとに複数クラブでの共同事業（活動）を行うといった手法により、成果と実績も数倍得られるのではないのでしょうか。一度御検討よろしくをお願いいたします。

当委員会では、委員の知識啓蒙のため、ISOの勉強会と研修を兼ねまして、国際規格を実行されている工場見学を予定しております。いずれ紙面を通してクラブ皆様に御報告させていただきたいと思っております。

多くの環境保全活動において、変った、またユニークな活動にお取り組み頂いたクラブからの情報をお教えいただければ幸いです。



退会防止委員会よりのメッセージ(1)

手に手つないで奉仕の輪を拡げよう

地区退会防止委員会 委員長 **平井 義久**
(京都洛中RC)



世界の大恐慌から四人で立ち上がったロータリーが、今や約120万人に成長したことはすばらしい団体である証であります。この100年間、世界平和のために、飢餓、教育、ポリオをはじめあらゆる難問題に立ち向かい、その成果を上げてきました。国際間の理解においては、留学生の支援や人道的な救済活動など積極的に展開し、今後の世界平和への布石としておおきな足跡を残してきました。これからは地球環境など、地球規模での奉仕活動が大きく展開されるものと考えます。私達ロータリアンは、その成果に向かって行動できる機会が与えられるとともに、奉仕できる喜びを共に分かち合うことができます。このような崇高な、また意義ある機会と団体は他にありません。どうか何時までも、この世に生がある限りロータリーを通じて奉仕する喜びを分かち合おうではありませんか。

私達ロータリアンは、自分の生業と同じ業種の人々の中から特に選ばれた業界の代表者であり、地域の代表でもあります。このことを何時の場合でも、自覚していなければなりません。ロータリーは「職業奉仕」こそが、ロータリーの奉仕活動の第一義となっています。自ら志して入ったロータリーをもっと良くするように努めれば、その地域が良くなり、国際ロータリーが良くなれば世界が良くなり、地球環境も良くなり、平和なすばらしい時代がやってきます。

これがロータリーの目標です。それに向かって行動するロータリーは、社会に認められたすばらしい団体であり、そのロータリアンは人間として高く評価されることとなります。奉仕活動は汗を一杯かいた後、涼しい風にあたった、あのさわやかな気持ちと同じように幸せを感じ、次なる奉仕に勤まられると確信いたします。どうかこのすばらしいロータリーを、みんなによりよくしていこうではありませんか。そのためには、楽しいクラブでなければなりません。入会された会員をあたたかく迎え、毎週の例会や奉仕活動、そして趣味の同好会などを通じて親睦を深めることにより、お互いに奉仕の心を育むと共に友情の輪が大きく拡がっていきます。

私達にはかけがえの無い、強い絆の友情があるではありませんか。これからも世界が平和に、そして私達の地域(街)がすばらしいものとなりますように、何時までも互いに心をつなげて、力強く「手に手つないで」、退会と言う文字がロータリーにとって不要なものになるよう頑張りましょう。



国際ロータリー第2650地区 2003～2004年度

ガバナーノミニー確定宣言

2001年8月25日、地区公示により「国際ロータリー第2650地区2003～2004年度ガバナーノミニー候補者」として、地区ガバナー指名委員会において、京都山城ロータリークラブ会員、福井正典君を指名したことをガバナー月信10月号誌上に公示いたしました。従いまして、国際ロータリー第2650地区2003～2004年度ガバナーノミニーに福井正典君が確定したことを宣言します。

2001年11月1日

国際ロータリー第2650地区ガバナー

西村二郎

- 歯 車 -

インターシティミーティング(第2組)

I.M.広報委員長 田 淵 裕 二 (福知山西南RC)

9月29日(土)福知山サンプラザ万助に於いて、第2650地区第2組インターシティ・ミーティングを中村稔福知山市長、西村二郎ガバナー、山田三郎パスト・ガバナー、岩佐孝雄地区幹事長はじめ多数の来賓、地区役員そして京都北部の7RCのメンバーの友情のもと、盛況に開催することができました。

今回のインターシティ・ミーティングはテーマを「歯車」とし、ロータリー精神の原点に戻り、青少年と共に生かされ、生きていくことを認識し、たとえ摩擦が生じようとも互いに協調し時代を築いていく。また我々自身もロータリー精神を伝えるに当たり、歯車の歯が欠けたりしてはいないか、軸はぶれていないか、ロータリアン一人ひとりの歯車はどうか、またクラブの歯車は、ロータリー自体の歯車は…。このような気持ちをロータリーのエンブレムである歯車に託し、今回のインターシティ・ミーティングを開催させて頂きました。

当日は、基調講演として佐藤千壽氏にご依頼し、「一隅を照らす」の演題で新世代のロータリークラブについて今後の活動がいかに大切かといった、格調高い、情熱のこもった講演を聞くことができました。山田三郎ゼネラル・リーダーをコーディネーターに、パネル討論会「感動を求めて」では各RCの活動や現状のエピソードを交え聞くことができました。

今回のインターシティ・ミーティングの特色の一つとして、ディベート・ゲームを開催いたしました。テーマを「会員増強は質よりも量である」として肯定、否定側、二手に分かれ真剣に意見発表を論理的に展開していく、立論から反論、作戦タイムと両チームが進めてゆく中、時間の経過と共に白熱した質疑応答が行われ、会場からも積極的な質問なども飛び出し、フロア側は大変面白く観戦することができました。切実な問題として再認識することが必要かと思えます。

山田三郎ゼネラル・リーダーより講評を頂き、次年度ホストクラブを宮津RCクラブに決定し、最後に西村二郎ガバナーの閉会挨拶を頂き、来年のインターシティ・ミーティングでの再開を約束して閉会となりました。



- 地域社会内でのロータリーイメージ強化 - インターシティミーティング(第4組)

I.M.実行委員長 中井 博(大和高田RC)

本年度の第2650地区第4組のインターシティ・ミーティングは、10月13日(土)に葛城の里、大和高田市の奈良県広域地場産業振興センターに於いて、ロータリー財団トラスティ・R.I.元理事 千 宗室氏、奈良県知事 柿本善也氏(代理 関 博之副知事)、西村二郎ガバナー、パストガバナー、地区役員、そして県下13クラブより450名の参加を得て開催されました。

今回は21世紀最初の記念すべきI.M.であり、テーマ「地域社会内でのロータリーイメージ強化」について中野重宏ゼネラルリーダーのご指導のもと、周到な準備が進められました。



第一部は「ロータリー向上のために」と題して千 宗室氏の基調講演。「六道」、「布施」、「寛容・慈愛・忍耐」などの難しいお話を「一緒だよ」の詩を紹介し、また年輪だけが残ったという「ビッグツリー」の話などを巧みに交えながら「ロータリーの心」「ロータリアンの歩むべき道」などについて恂恂と説かれ、会場の一同深い感銘を受けました。この

第一部は、一人でも多くの市民の皆様にご参加いただき、ロータリーを知って頂こうと一般公開といたしました所、100名以上の市民の皆様のご参加があり、会場を埋め尽くして下さいました。

第二部は今回のテーマである「地域社会内でのロータリーイメージ強化」について、中野重宏ゼネラルリーダーのもと4人のパネラーが意見発表した後、会場の会員の皆様と意見交換・質疑応答などが活発に行われました。パネラーにはロータリアン2名と外部から女性お二人を迎えました。ロータリー財団の同額補助金を活用した奉仕活動・地域社会への広報活動の必要性・継続事業やWCSなどの重要性、また今まで全くロータリーのことを知らなかったという稲垣とし枝さんは、自分の仕事を通してロータリーの奉仕への期待を述べられ、また田中克子さんはかつてGSEに参加して、こんな素晴らしい奉仕活動をしているロータリーが、余りにも地域社会で知られていないのは誠に残念であり、もっと地域を巻き込んだ奉仕活動を心がけられては如何か、また女性会員が余りにも少なすぎるのではないかなど鋭いご指摘に、会場のロータリアン達も大きくうなずいておられました。

第三部は懇親会が行われ、会場に溢れんばかりのロータリアン達が互いに友情交換をしたり、パストガバナーや地区役員との交流など、会場の親睦の輪は大きく拡がり、「手に手つないで」の大合唱で閉会してもその余韻はなお残っております。

I.M.に先立ち行われた会長懇談会で、次年度ホストに五條RCが決定し快諾されました。

G.S.E.派遣団決定!

地区G.S.E.委員会 委員長 佐野 貞夫(京都八幡RC)

2002年4月上旬～5月上旬に派遣する団長、団員4名が、さる10月7日(日)西村ガバナーご出席のもと選考テストを行い、派遣団が決定いたしました。

本年度は、RI第6910地区(USA・ジョージア州)と交換をします。推薦RCには厚く御礼申し上げます。

受け入れは、4月上旬～5月上旬の約1ヶ月で、大和郡山RC、京都市中RC、京都市城陽RC、びわ湖八幡RC、丸岡RCの5クラブにホストしていただきます。

～派遣団員紹介～

団長



正村 嘉規
(彦根RC)

団員



今西正樹
(奈良RC推薦)



大山由城
(近江八幡RC推薦)



品川 勉
(武生府中RC推薦)



栢山和誉
(彦根RC推薦)

優秀地区ガバナー表彰

次の課題の内1つ優秀な成績を修められたとき、クラブ、または会員を2002年4月の地区大会において表彰いたします。

2002年3月30日(土)必着で、ガバナー事務所まで報告してください。

会員増強(4つの業績をすべて記入のこと)

- 地区会員増強セミナーを実施する。
- 自ら3名の新会員をスポンサーする。
- 最低3つの新クラブを結成するか、あるいは5つのクラブで最低15名の純増を達成する。
- 4クラブあたり1名の地区会員増強委員を任命する。

ロータリーに対する公共的イメージ

- (4つの業績の中3つを記入のこと)
- ビジネスおよび社交行事の場でロータリーの襟章を着用する。
- 適切な地域社会の行事にクラブを代表して出席する。
- 地域社会におけるロータリーの役割に関して、地元地域社会ならびに世界に少なくとも2回伝える。
- 最低5回、機会を捉えてロータリー・クラブ行事を重要な報道機関に報道してもらう。

ロータリー教育と研修

- (5つの業績の中4つを記入のこと)
- 地区ロータリー財団セミナーを実施する。
- ガバナー・エレクト研修セミナー(GETS)に参加する。
- 2001-02年度国際ロータリー研究会に出席する。
- 米国テキサス州サン・アントニオでの2001年国際ロータリー年次大会に参加する。または、スペイン、バルセロナでの2002年国際ロータリー年次大会に登録する。
- 地区会員の最低10パーセントが米国テキサス州サン・アントニオでの2001年国際ロータリー年次大会に参加する、あるいはスペイン、バルセロナでの2002年国際ロータリー年次大会に登録する。または2001-02年度会長主催会議に出席する。

クラブの発展と改善

- 地区の51パーセントのクラブが、優秀クラブ表彰を受賞する資格がある。

『大自然と夢の国アラスカへ』

地区国際交流地区委員会 委員 **山本 和秀** (京都山城RC)

当地区委員会では、今年度第7350地区（米ペンシルベニア州）との友情交換を決定しておりますが、次年度2002～03年度の交流相手地区を第5010地区（米アラスカ州）と決めました。その打ち合わせをするため渡米して参りました。

9月10日、アンカレッジ・ヒルトンホテルでアーバンド・フーカン氏（第5010地区のガバナーエレクト）と面談。同氏はキッチンナー（カナダ）で第22ゾーンのガバナー研修を終えたばかりでした。しかし、お疲れにもかかわらず片言英語の私に丁寧に応接して下さいました。また、両地区の友情交換を喜んでおられ、自分もこのプログラムで日本に行きたいと話されていました。

その後、ニューヨークでテロ事件があり、私は1週間アラスカに足止めされたのですが、その間、スティーブ・ヨシダ氏（第5010地区のバスターガバナー）にアラスカの観光案内をして頂きました。



テロ事件のため、半旗になったアメリカ国旗（左）とアラスカ州旗（右）

アラスカでは「大自然」と「鮭」が出色です。ムース（大鹿の一種）が丘を歩いていたり、クマやヒツジが山を散策しているのを見かけ、また、海に目をやるとクジラの群れがおり、潮吹きの様子も見られました。ホーマーの海辺では、地元の人が簡単な釣具で50cmぐらいの「銀鮭」を釣っていました。6・7・8月には1mを越すキングサーモンが釣れるとのことでした。

さて、第2650地区の会員の皆様、こんなすばらしいアラスカへ2002～03年度に貴方と貴方のご家族で行ってみませんか？当地区委員会がお世話をさせていただきます。詳細はまだ決定していませんが、決まり次第『ガバナー月信』等にてお知らせ致します。奮ってご応募下さい。



アーバンド・フーカン氏（左）とアンカレッジヒルトンホテルにて

新しい委員会ができました

国際ロータリー第2650地区 WCS委員会内 特別委員会

名称：国際事業特別委員会

事業内容：1. カンボディア王国地雷等除去活動支援
2. 地雷関連難民・避難民救済活動支援

基本方針：活動方針は、官民共同事業としての基本姿勢を保持しながら事業展開を行うものであるが、それを含めて今年度は、研究・調査を主体に活動する。

設置期間：2005年6月30日迄とする。

R.I. 第2650地区 国際事業特別委員会

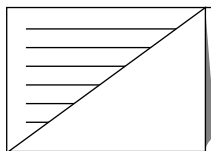
地区ガバナー	District Governor	西村 二郎 (京 都 南 R C)
委員長	Chairman	(常) 山崎 時雄 (彦 根 R C)
副委員長	Deputy Charman	(常) 大日方弘明 (京 都 洛 西 R C)
委 員	Committee	(常) 増田 善宏 (福 井 R C)
		(常) 加藤 善彦 (京 都 洛 西 R C)
		(常) 宮尾 憲司 (彦 根 R C)
		(常) 岩佐 孝雄 (京 都 南 R C)
		(常) 2002-2003 年度地区幹事長予定者 松岡 泰雄 (奈 良 R C)
		(常) 2003-2004 年度地区幹事長予定者 地区 WCS 委員長 松原 六郎 (福井フェニックス R C)
国際大会担当委員		(常) 小林 哲夫 (京 都 南 R C)

* (常) は、2005年6月30日迄の常任を意味する。

R.I. 第2650地区 国際事業特別委員会 顧問

特別顧問	Special adviser	(常) 財団トラスティ、元 R.I. 理事、地区バスターガバナー 千 宗室 (京 都 R C)
特別顧問	Special Adviser	(常) 元 R.I. 理事、地区バスターガバナー 小谷 隆一 (京 都 R C)
顧 問	Adviser	(常) 地区バスターガバナー全員 地区ガバナー・エレクト 岡村 吾郎 (奈 良 R C)
		地区ガバナー・ノミネー

設立までの経緯：2000.6.6...準備委員会設立。2001.3.25...調査・研究のための委員会設立、いずれも諮問委員会にて承認。国際事業特別委員会は、調査・研究期間の終了次第、実行委員会を組織する。



クラブだより

就職模擬面接開催

職業奉仕委員長 田賀 将一
(鯖江北RC)

鯖江北ロータリークラブ職業奉仕委員会では、福井県立丹生高等学校の就職希望生徒を対象に8月29日(水)就職模擬面接を開催致しました。

今年で13回目の恒例行事となりましたが、本年度は厚生労働省の『公正な採用選考をめざして』『男女均等な採用選考』『採用選考自主点検資料』『公正採用選考好事例・問題事例』等の冊子を会員に配布啓蒙し、公正な採用選考をおこなうために、会員自身が新たな気持ちで取り組みました。

参加者は就職希望生徒37名、教員12名、クラブから25名。個人模擬面接は15分間本番さながらの緊張感でした。8班それぞれ分かれてグループ討議でミーティング。各班、校長、会長の講話。

就職大氷河期といわれる中で、生徒たちが一生懸命に面接の練習を積んでいる様子が伺えます。一般的な受け答えについては、よく練習されていますが、自己PR等には少し物足りなさを感じました。自分の言葉でしっかり表現してくれればと思います。



「新世代のための月間の一環として」

ロータリー情報委員長 田中 文夫
(福井南RC)

福井南ロータリークラブ(今井庚四郎会長)の会員約40名と、南アフリカからの青少年交換学生・ジーンさんが、9月12日「私立勝山子供小中学校」を訪問し、同校が実践している独自の教育に触れました。

子供達の個性と自主性を尊重し、体験を重視した同校の教育を学ぼうと今月の見学会として取り組みました。生きた英語をということで、当クラブの青少年交換学生のジーンさんは、飛び入りで一日英語教師を勤め生徒達に大変喜ばれました。



文庫通信 地区大会・IMの講演から

「奉仕の心」
「ドコモ急成長とIT」
「がん・最近の話題」
「コンピュータ化により社会はどのように変容していくのか」
「私とロータリー」
「ロータリーらしさ...」

阿部志郎	D.2780	2001	7頁
大星公二	D.2780	2001	11頁
杉村 隆	D.2530	2001	5頁
大山永昭	D.2590	2001	9頁
深川純一	D.2730	2001	10頁
森 三郎	D.2770	2001	6頁

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー)]

必読の書(復刻版)増刷出来る 頒価1500円

『ロータリーの理想と友愛』...ロータリアンとなって、未だにロータリーから十分な人間性を感じていない不満を抱いているロータリアン、あるいは、ロータリー運動に興味を失いかけているロータリアンは、本書を一読することで不満も誤った認識も直ちに是正されるでしょう。

ロータリーの創始者ポール・ハリスが、ロータリーの昨日、今日、そして明日を説いたものです。精読することによって、ロータリー運動の真髄が把握できます。

『ロータリー・モザイク』...50年間のロータリーライフに基づいて一人のロータリアン(元R.I.会長)が綴ったロータリー自体の、ロータリーの方針とプログラムの、そしてロータリアンの、それぞれの進化の物語です。

彼は「ロータリーはロータリアンすべての参加によって始めて出来たものである」と述べています。本書を一読することによって、すべてのロータリアンに与えられているロータリー運動への参加の機会と可能性と期待とがはっきりと認識できるでしょう。

[申込先：ロータリー文庫]

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

ガバナー表敬訪問

2001年9月7日(金) 京都乙訓ロータリークラブ



会長 下村信夫・幹事 中小路克爾

楽しいクラブづくり、経費や時間の効率的な運用、ベッドタウンとしての地域特性を活かす等、会員増強に向けて下村会長、中小路幹事を先頭に、一丸となって燃えておられます。本年度は6名の増員を目標達成にしておられます。
(千振和雄 記)

2001年9月11日(火) 宇治ロータリークラブ



会長 高嶋洸二・幹事 山田定男

過去に京都市陽ロータリークラブ、更に宇治鳳凰ロータリークラブをエクステンションされており、輝く伝統ある歴史を有するクラブです。会員増強には、会長を先頭に頑張られ、クラブの益々の活気が上がることと思います。
(小西清茂 記)

2001年9月12日(水) 桜井ロータリークラブ



会長 藤井 公・幹事 北川慈照

15年間、青少年交換留学生の派遣、受入れを行っておられ、地域青少年に対する奉仕(銃剣道大会etc)等に活発に活動されています。今後も、益々の発展が大いに期待されるクラブです。
(中村弘和 記)

2001年9月13日(木) 京都洛北ロータリークラブ



会長 伊藤祐介・幹事 大西 進

2年後に創立30周年を迎えられます。79名の会員を擁する大きなクラブ。ローターアクトも今年10周年を迎えられます。京都東RCが親クラブでロータリアンとしての認識を強く持たれ、格調高いクラブでした。
(前川清昭 記)

2001年9月14日(金) 京都市陽ロータリークラブ



会長 杉山 実・幹事 尾関弥之助

今年度31周年を迎えられます。会員数50名と決して多い人数とはいえませんが、地域に根ざしたロータリー活動を精一杯行おうとされる確かな気概を感じとれ、定款・細則に沿ったクラブ運営が誠実に実行されていました。
(長谷川 茂 記)

ガバナー表敬訪問

2001年9月18日(火) 大和高田ロータリークラブ



会長 池内博彦・幹事 酒本昌彦

テリトリー内の人口約20万人。それも大部分がベッドタウン。その条件で会員数111名。死亡か病気以外退会者はないという。財団への寄付も常に地区でトップクラス。当地区の模範クラブの印象を強くしました。

(池田 崇記)

2001年9月19日(水) 生駒ロータリークラブ



会長 安藤武徳・幹事 中野光夫

今まさに成熟期を迎えられ、本年6月11日に25周年を終えられたクラブ。安藤会長は、新たなクラブのあり方を求めるため、ロータリーの原点をしっかりと見直そうと熱っぽく語られました。社会職業奉仕共同の地域住民を対象にした、「よろず相談会」は、四年もの継続事業であり、大変好評を博しているようです。

(西村信行記)

2001年9月20日(木) 武生府中ロータリークラブ



会長 中島千治・幹事 田中康雄

中島千治会長を先頭に、多くの会員の皆さんに丁寧なお出迎えを頂き、会長幹事懇談会。テーブルにはすすき、柿、栗が飾られ、再び我々を出迎えてくれました。細やかな配慮に感激。クラブ協議会まで和やかに、そして本音で話し合うことができました。勉強熱心で真面目な貴クラブの今後のご発展を祈念致します。

(辻 建而記)

2001年9月21日(金) 守山ロータリークラブ



会長 山本 学・幹事 小島隆雄

琵琶湖畔のすばらしい環境に包まれた例会場。山本会長、小島幹事を始め、会員の皆様に暖く迎えていただきました。地域に密着した会員数も安定したクラブ。姉妹クラブとの交換留学生も18年間継続されています。(千振和雄記)

2001年9月25日(火) 勝山ロータリークラブ



会長 柳原幸實・幹事 藤田幸輝

多くのパスト会長が、委員長として頑張っておられる姿を拝見し、感激するとともに、ロータリー活動への情熱、真面目に取り組まれる姿勢が印象的でした。遠く福井駅までお出迎え頂き恐縮しました。今後益々のご発展を祈念しております。

(辻 建而記)

ガバナー表敬訪問

2001年9月26日(水) 京都西北ロータリークラブ



会長 島崎俊夫・幹事 森井春男

さわやかな秋、例会場の嵐亭に着く。島崎会長様はじめ多数の会員の出迎えを受け感激。なごやかに会長幹事懇談会。例会は和室のお座敷にて、西村ガバナーの力強いアドレスが行われた。アッセンブリーでは、会員増強に強い意欲を感じました。(片岡宏二記)

2001年9月27日(木) 京都西山ロータリークラブ



会長 梶野興三・幹事 羽場重尤

京都市内で唯一の夜間例会のクラブです。現在会員数35名という少人数のクラブですが、梶野会長、羽場幹事のリーダーシップのもと、全会員が非常によく纏まり、あらゆる奉仕活動に積極的に取組まれており、充実したクラブです。今後会員増強を画って頂きたいと念願する次第です。(小竹 治記)

2001年9月28日(金) 京都伏見ロータリークラブ



会長 大藪久雄・幹事 森川泰明

例会開始と同時に握手攻めにあう。一挙に和やかになる不思議なクラブ。アッセンブリーも、多くの方々が最後まで熱心に参加され、大藪会長のもと、来年30周年を迎えられる充実した重厚な印象あるクラブでした。(中島喜代一記)

2001年10月2日(火) 若狭ロータリークラブ



会長 小牧浩哉・幹事 中野貴耀

来年6月に創立40周年を迎えられます。小牧会長のあたたかさ中野幹事の活力、多くのパスト会長のロータリーへの情熱と各委員会委員長の伸び伸びとした活動を拝見し、今後益々発展されるであろうとの思いを強くしました。(佐野剛一記)

2001年10月3日(水) 園部ロータリークラブ



会長 穴總行弘・幹事 佐野真二

1998年には地区大会のホスト。今年度、創立20周年の節目にあたり、記念事業を成功させるために、全会員が一丸となって活動されています。会員増強の必要性はよく理解されながらも、その難しさに大変御苦労されております。(中野秀紀記)

未来への発信

自ら人間的魅力を高めよう



水口RC 竹村 明

倉本長治先生の商売十訓の一つに「店の発展を社会の幸福と信ぜよ」がある。「商売とは、他人の造った物を右から左へ移すだけで利益を取っている」と考え、うしろめたい仕事と考えている人がいる。決してそうではなく、お客様が生活に必要な物やサービスを身近な所に安値で安心に手に入れられるようにする立派な機能だということを言っている。

そのためにはどうしたらいいのか？ 社員についての扱いは「和」を重視する経営から、評価を客観的尺度である「金」にすべて置きかえる経営にもっていくと思う。これは先輩ロータリアンから教えてもらった一つである。

社員にばかり期待するのではなく、社員に要求する以上は、そして人々によりよい商品をより安く、自らにかかわるすべての人々が幸せに「生き生きと」生きられるようにするためには、自らも人間的魅力を高めるよう努力せねばならない。それが会社存続の第一条件であることを忘れないようにしたい。そしてそれにはロータリーの諸先輩や仲間から学び取りたいと思う。

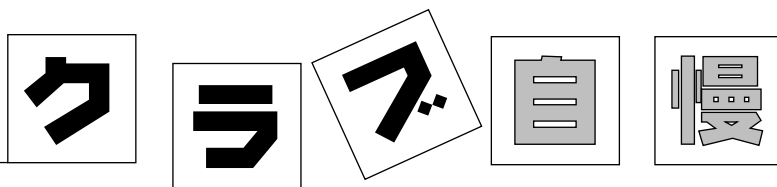
社長に魅力がなければ、社長の分身は永久に見つからない。その分身を今後十年かけて見つけ出したいと思う。そうなれば次なるステップに飛躍できるであろう。飛躍せねばならない。自らのため、会社のため、そして社会のために！

和を重んじ楽しく



檀原RAC会長 廣田 幹雄

私が、アクトの会長を決心した時、希望と不安が膨張しました。まず自クラブのテーマにもした「和」を重んじて、楽しく一生付き合えるような仲間づくりのきっかけに、ふさわしい存在にしたいという希望と、ロータリークラブの皆さんとうまく付き合えるだろうかという、根拠のない不安でした。そして悩んだ末に出した答えが、ロータリークラブのことをもっと知ろうということでした。それから、例会でも例会外でも接する機会を大切にしました。初めは食事に行っても料理どころではありませんでしたが、お酒を酌み交わすこと数回、いつしか自分のなかに、心地よい緊張だけが残り、あの根拠のない義務的な不安はなくなっていました。それは、定款や細則だけではなく、ロータリーがどんな気持ちで、今年は何に重点をおいて活動しているのか、どんな雰囲気なのか、ロータリーだけがアクトのことを知るだけではなく、アクトもロータリーにもっと触れて感じる大切だと思いました。私どもの活動が、ロータリーの青少年育成の理念にどこまで沿って答えられているかはわかりませんが、今緊張と共に私が純粋にアクトに望んだものが、ロータリーからも得ることができると実感しております。特に我々は、提唱の檀原ロータリークラブ様と未提唱ながら、檀原中央ロータリークラブ様の2クラブに恵まれ、そのチャンスも多いわけです。どのクラブにも持っているチャンスは、その価値を知ったものだけが、存在に気づき実を結びます。大切にするかどうかは、自分次第です。



鳳凰賞について

鬼界 幸三（宇治鳳凰RC）

宇治鳳凰ロータリークラブは、宇治ロータリークラブをスポンサークラブとして平成2年3月に誕生した。社会奉仕・理想を追求するクラブとして活動をし、運営して3年目の記念事業として「鳳凰賞」が創設された。「ボランティアという言葉がさまざまな分野で使われ、活動も盛んになっているが、広い意味でのボランティア活動に対する感謝の功績を称え、活動を奨励しようということが目的」である。

応募要領において、対象者は文化芸術活動、スポーツ活動、国際親善活動などで、宇治市を住み良い街にするため貢献している団体または個人。但し行政などの下部団体、委嘱団体、助成金等で運営されている団体、営利目的の団体は除く。なるべく宇治市民であること。推せんされた団体・個人を対象に鳳凰賞実行委員会のメンバーと各専門分野の有識者から意見を聞き、決定。団体には正賞と副賞10万円を奨励金として贈呈。個人には正賞と5万円を副賞として贈呈する。毎年多くの応募があり、昨年迄で9回を数える。受賞された団体及び個人のサークルでは、これを契機として若いボランティアの理解と協力を得て参画してもらい、次期運営のための人材育成に取り組んでおられる。

本年4月21～27日に第2650地区大会「ひこね市文化プラザ」会場に於いて「鳳凰賞」が認められ、R.I.会長賞を受賞した。鳳凰賞も2001年で10周年を迎え、記念事業として地域のボランティアの輪が益々広がる様支援してゆく所存です。



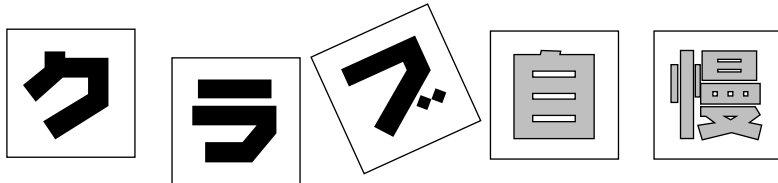
交換留学生から学ぶもの

大林 利昭（福井北RC）

福井北ロータリークラブは、昭和55年5月にアメリカカリフォルニア州フラトン市のフラトンサウスRCとの間に、国際ロータリークラブ機構の姉妹クラブとして締結され、翌年昭和56年7月より、夏季期間中に会員子弟の青少年交換事業として、4名をフラトンサウスRCに派遣しました。そして、その翌年昭和57年7月には3名を受入れをし毎年交替で行っております。

今年度は、7月9日にフラトン市から男子2名、女子2名（いずれも16才～18才）の学生達が関西国際空港に到着し、その後12日まで京都・奈良市内のお寺や観光地を見学しました。福井では6家族にホームステイしながら、県内の観光地や関西電力美浜発電所をはじめ、永平寺・丸岡城やレジャー施設をまわったり、また日本海での海水浴などを楽しみ、7月28日に帰国しました。3週間の日々のなかで、子供同士が、些細なことで喧嘩をしたり、40度の熱を出して病院に連れていったり、またホストファミリーの手伝いをしたり、一緒にジョギングをしたりと、そのなかから私達が勉強させられたり、なるほどと思わせることも数多くありました。今後共このような夏季交換事業を、姉妹クラブとして継続させていきたいと考えております。





周恩来 - 雨中嵐山の詩碑

梶村 昌寿 (京都西北RC)

例会場は世界に誇る名勝嵐山大堰川のほとり、京都随一の和風料亭ホテル“嵐亭”です。

四季の素晴らしさは、筆舌につくせないものがあります。春は桜、夏は大堰川の清流、秋は嵯峨野の紅葉、冬は山々の雪景色と格別の趣があります。近年は男子大学生が引子（車夫）を勤める人力車も登場し、レトロ趣味と相俟って観光客の人気の的。渡月橋にかかる月は名の通り絶景です。当クラブの茶道同好会（裏千家長老〔業跡〕の会員在籍）、俳句同好会（会員の医師が指導）と共に嵐山の四季を堪能しています。

例会食事は全て和風で、京料理の粋を極めて大変美味です。例会は椅子席ですが、時々座敷大広間で開会されます。

旧公爵家別荘のため、重文の価値あるお道具も多く、目を楽しませてくれます。場所柄、有名人、外国人の来会も多く、10月31日の例会には山田三郎パストガバナーや、アメリカ・オハイオ州クラブ、パスト会長ご夫妻もお見えになりました。

特筆しなければならないのは、当クラブの例会場に隣接して京都嵐山に亀山公園があり、中国の故周恩来大人が京都大学留学時代に詠まれた「雨中嵐山」の詩碑（石造）があることです。中国要人が来日、入洛された時は、必ず見学されます。

クラブの環境整備の方針で、嵐峡の清流を守る会と共に、詩碑の清掃管理等に努めています。日中友好の一端となればと思っています。

第2650地区に、このような勝れたクラブが在ることを認めて頂きますように、風光明媚な景勝地であります例会場には是非お越し下さい。きっと心温まることでしょう。



金魚のまちとして

原田 昌紀 (大和郡山RC)

大和郡山市は、奈良県の北部に位置し、人口約9万6000人を擁する中堅都市である。その歴史は、中世末期の混乱期を経て、織田信長と組んだ筒井順慶が大和を統一し、明智光秀の指導で城郭の整備にかかった。順慶の死後、後を継いだ定次が秀吉から伊賀上野へ国替を命じられ、秀吉の弟の大納言秀長が郡山城に入り、城郭の大増築と城下町の建設を行った。

大和郡山市といえば、全国一の金魚の養殖地として有名であり、その由来も古く享保9年に柳沢吉里侯が、山梨の甲府より大和郡山市へ入府のときに始まると伝えられている。自然条件にも恵まれ、養殖技術の進歩もあり、生産量も毎年増加し、昭和40年代には、外国へ輸出されるまでになった。近年では、環境悪化に伴い生産量は全盛期に比べて減少しているものの、養殖農家100戸、年間金魚約8000万匹、錦鯉約600万匹が生産され、毎年、郡山お城まつりが行われる4月上旬には、金魚の品評会が金魚にゆかりの深い柳沢神社で盛大に行われる。平成7年より、全国金魚すくい選手権大会を開催しており、「金魚のまち大和郡山」をPRしている。

大和郡山ロータリークラブでは、子供たちに少しでも自然と生物、水質汚濁等、環境問題に関心を持ってもらい、児童らの学習に役立てようということで、毎年、鯉の稚魚数千匹を近郊の川や郡山城外堀公園の川へ放流している。

